

牛久：学校周辺に見る自然

第2号

ひたち野西近隣公園（ひたち野うしく小学校）

2011年4月23日発行

今年度も引き続き、中根小、ひたち野うしく小、牛久二小、牛久二中でお世話になることになりました。校庭や学校周辺に見られる動植物を中心に、各校での実験・観察等の補足などしたいと考えています。生きもの情報や疑問点等ございましたら、お知らせ下さるとありがたいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

＜ 水辺公園の春 ～ ① タンポポ ＞

4/20(水)、ひたち野うしく小4年生と、水辺公園に春の生き物たちの観察に出かけました。去年は学校のフェンス沿い外側を観察しましたが、今回はその時には見られなかった生き物もたくさん見つけられましたね。また花に集まるハナアブやチョウの仲間は、2校時目のクラスではまだ少なかったけど、4校時目になって暖かくなるとたくさんみられました。

セイヨウタンポポとカントウタンポポ(キク科) 去年も第1号でご紹介しましたが、春の雑草



という、まず出てくるのがタンポポですね。古くから日本にある種と外国からやってきた種がありますが、「その違いは？覚えてるかな？」と聞かれて、皆さん自信たっぷりに答えてくれました。そう、外国から来たセイヨウタンポポや、アカミタンポポでは花を包む小さな葉そうほうへんの集まり(総苞片といいます)の一番外側がそり返っているのに対し、日本に古くからあるカントウタンポポではぴったりくっついていて、そしてセイヨウタンポポは花粉がつかなくても雌しべだけでタネを作れるということでした。水辺公園には両方がありますが、見つけられましたか？



明るい林内に咲くカントウタンポポ(上)

セイヨウタンポポの花(外側の総苞片がそり返る:下左)

カントウタンポポの花(総苞片は内側にはりつく:下右)

いずれも4/20、水辺公園で撮影



セイヨウタンポポの帯化(4/20、稲敷市民農園)

そして今年も、左の写真のような”おぼけタンポポ”が、うちで借りている市民農園で見つかりました。帯化(たいか)とか石化(せきか)とよばれる現象ですが、見なれた生き物でも、じっくり観察して歩くと、このような変わりものに出くわすこともあります。皆さんも面白い生き物や現象を見かけたら、ひとり占めしないで、ぜひ教えてくださいね。【理科支援員 宮内】